

塩竈市浦戸寒風沢の土見壽郎の語り「1」

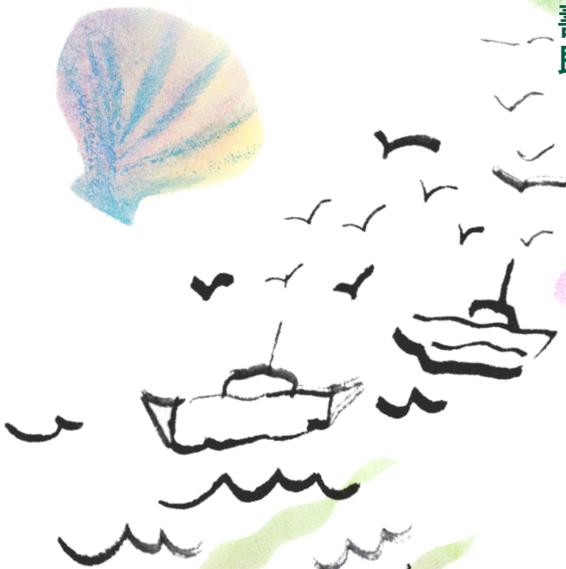
語り手 土見壽郎

聞き手 山田裕子

撮影 福原悠介・長崎由幹
酒井耕

日時 2018年7月11日

場所 宮城県黒川郡大衡村



制作 みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク

事業年度 2019年度
発行年度 2020年度
資料番号 10002966

民話声の図書室

塩竈市浦戸寒風沢の土見壽郎の語り「1」

みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク

解説 この映像は、宮城県を中心とする民話の語り手による音声、映像記録をデジタル化し、地域の共有財産として公開・活用していくことを目的として実施した事業のなかで、塩竈市在住の土見壽郎さんの語りを、山田裕子聞き手として、長須賀直子、山田和郎の協力を得てまとめたものです。

土見壽郎 (つみじゆうろう)

大正十四年(一九二五)、塩竈市浦戸諸島寒風沢島に生まれる。十五歳から一家の中心的な働き手として農業に従事する。島を訪れる小学生に民話を話したことがきっかけとなり、島の民話を調べて語り始める。東日本大震災の津波で田畑と家を失い、その後は島を離れ塩竈市内で暮らしている。この映像記録は三度の津波を体験した土見さんの島での暮らしの話を中心としている。

キーワード

- ・ 伝承の民話
- ・ 語り聞く
- ・ 土着の魂/旅人の眼
- ・ 記録映像



- 1 十五の歳から鍛頭 (8分)
- 2 天水が頼りの島の米づくり (3分)
- 3 干潮を待って田の水を排水する (3分)
- 4 チリ地震津波のあとに米俵で堤防をつくる (13分)
- 5 チリ地震津波のあとすぐに米をつくる (10分)
- 6 島ならではの土づくりの難しさ (7分)
- 7 夫婦で船を漕いで、田に通う (6分)
- 8 津波に三度遭う (5分)
- 9 津波に乗って寒風沢水道を抜けた漁師さん (10分)
- 10 今回の津波は生活の全てを変えた (4分)
- 11 津波の年にも準備していた稲の苗 (11分)
- 12 民謡をうたうことに支えられる (12分)
- 13 タヌキに化かされた九ノ吉 (7分)
- 14 ムジナに化かされたおっ母 (9分)
- 15 キツネに化かされたタヌキ (11分)
- 16 ウイスキーを飲んで酔っ払ったタヌキ (14分)
- 17 戦争中に船入島にウサギを放す (5分)
- 18 海坊主と子ども (16分)
- 19 木田の大ダコと潜りの新吉 (8分)
- 20 潜りの名人の条件 (7分)
- 21 陰田島で賭けをした若え者 (13分)
- 22 若え者の河岸前会議と船競争 (16分)
- 23 小夜姫と鳥になった姉妹 (10分)

※ ○は民話、●はその他の話です。

館内視聴 (smt) ○ 館外貸出 (smt) ○ 団体貸出 ○ | 208分 | カラー | 16:9 | ステレオ | 日本語 | 片面一層 MPEG-2 |

【おことわり】

・私的鑑賞の目的以外に、無断で複製、改編、公衆送信(放送、有線放送、インターネットなど)、上映、上演、頒布(販売、貸与など)、翻訳、翻案などに使用することはご遠慮ください。
・学校教育または社会教育など、公益目的での利用を希望される場合は、視聴覚教材ライブラリーをご利用ください。
・収録された作品等の著作権はそれぞれの権利者に帰属しています。二次利用等についてのご相談は、せんだいメディアテークまでお問い合わせください。
・内容の一部不適切な表現がふくまれる場合がありますが、記録保存の観点からそのまま収録しています。あらかじめご了承ください。



【発行】せんだいメディアテーク 電話: 022-713-4483 / ファクス: 022-713-4482 【助成】一般財団法人 地域創造

E-mail: office@smt.city.sendai.jp Website: https://www.smt.jp

